

<b>科目名：口腔外科学〈含、麻酔学〉</b> (Oral Surgery ) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義 担当教員：水谷成孝（実務経験有り）、河合良明（実務経験有り）		必 1 単位 (45時間)
学修目的	口腔外科は、ほとんどすべての基礎歯科医学、臨床歯科医学に立脚した学問である。したがって、まずこれらの基本的な知識の十分な理解と習得を目指し、その上で口腔外科としての専門知識を学ぶ。同時に、医療を受ける側の心理についての考えも深化させたい。(CP 2,3,6) (科目 No.S2C09H10)	
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。 (2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。 (2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。 (2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。 (3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標		口腔外科学は「外科」とはなっているが、粘膜疾患、症候群、感染症などを扱う「内科」、扁平苔癬、帯状疱疹などを扱う「皮膚科」、顎関節症、顎変形症などを扱う「形成外科、整形外科」、上顎洞疾患、唾液腺疾患などを扱う「耳鼻科」、三叉神経痛、舌痛症などを扱う「精神、神経科」と多岐に渡った領域と関連している。また、特に外科治療を行うにあたりその処置の可否は適応症や禁忌症、妊娠の有無、循環動態、現在の授業内容などにより規制され、「産婦人科」「眼科」とも関連する場合がある。学修目的にも述べたようにすべての医科に立脚した学問であることから、本学科を習得することは、単位を取り、国家試験に合格することを最終目的とするのではなく、将来、衛生士として臨床の場で活躍する時、また、一般生活をする上でも必要な知識と考える。 講義は下記に内容に分類される。 ①口腔外科の基礎知識を理解する。 これは衛生士として直接関与することは少ない場合が多い疾患について、知識としてマスターする。 ②歯科医師の介助、器具の準備、滅菌消毒を行う。 これは歯科医師処置時の補佐を行う。器具の準備や介助には処置内容の十分な理解が必要であり、学習をする。 ③衛生士が主体、主導となって治療を行う。 最近保険に導入されてきた「周術期」治療は口腔衛生指導の場合が多く、歯科衛生士が主として治療を行う。 以上3項目の理解、習得を到達目標とする。口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索してゆきたい。口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、

	単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索していきたい。
授業概要	口腔内に生じる「う蝕」と「歯周病」以外の、ほとんどすべての疾患について学習し、診査、診断、処置法などを学ぶ。スライド、PC、ビデオなどを適宜使用して、単なる知識の羅列にとどまらない、立体的、実践的な、常に臨床を念頭に置いた内容を目指す。医療の現場からのさまざまなエピソードも適宜紹介し、医療従事者としての心のあり方も、ともに模索していきたい。
評価方法	本試験（100点満点：マークシート形式、一部記述あり）（90%）、講義時小試験（10%）により評価する。 試験に対するフィードバックは掲示板で行う。
予習・ 復習時間	【予習】0.5時間 【復習】0.5時間
教科書	顎・口腔粘膜疾患 「口腔外科・歯科麻酔」全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版株式会社
参考書	歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 医歯薬出版株式会社 看護師のための最新医学講座 第23巻 歯科口腔系疾患
オフィス- 連絡先	木曜日 9:00～17:00 不在の日程が多いので事前にメールをいただくと確実です。 mizudent@sa.netyou.jp（水谷） omsi.kawai@kkh.biglobe.ne.jp（河合）

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (04/11)	<p>『口腔外科の概要』 口腔外科疾患と周術期管理』</p> <p>①顎・口腔の解剖、組織、生理、加齢変化を知り役割を説明できる。</p> <p>②口腔外科診療における歯科衛生士の役割を説明できる。</p> <p>③術前・術後のセルフケアの支援の必要性を説明できる。</p> <p>④術後に口腔機能障害が伴った場合の口腔リハビリテーションの必要性を説明できる。</p> <p>⑤放射線治療の副作用と術後の不快事項の出現について説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 1-8、261-270</p> <p>(復習)</p> <p>加齢による顎口腔領域の変化を把握。</p> <p>歯科衛生士の役割の理解。</p> <p>周術期の治療を理解。</p> <p>放射線性口内炎とその対策、治療法について理解する。</p> <p>(キーワード)</p> <p>歯科衛生士、周術期、放射線性口内炎</p>	○水谷
2 (04/18)	<p>『抜歯および観血的処置 (1)』</p> <p>①抜歯の適応症と禁忌症を説明できる。</p> <p>②埋伏抜歯術の手順が説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 139-140</p> <p>(復習)</p> <p>抜歯処置を理解し、適応症、禁忌症を復習する。</p> <p>(キーワード)</p> <p>抜歯の適応症、抜歯の禁忌症</p>	○河合
3 (04/25)	<p>『抜歯および観血的処置 (2)』</p> <p>①各種類の抜歯器具と操作の説明ができる。</p> <p>②抜歯後の注意事項の説明ができる。</p> <p>③抜歯に伴う偶発症を説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 141-151</p> <p>(復習)</p> <p>抜歯時使用する器具を理解する。</p> <p>抜歯後の注意事項を確認し、起りうる偶発症を復習する。</p> <p>(キーワード)</p> <p>抜歯器具、抜歯後の注意事項、抜歯時の偶発症</p>	○河合
4 (05/02)	<p>『先天異常と発育異常』</p> <p>①歯や小帯の異常による障害を説明できる。</p> <p>②口唇裂・口蓋裂の発生頻度・発症原因・治療方法について説明できる。</p> <p>③発育異常について種類を列挙できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 19-33</p> <p>(復習)</p> <p>顎口腔領域の奇形について復習する。</p> <p>口唇口蓋裂について復習する。</p> <p>顎の発育異常について説明できるようにする。</p> <p>(キーワード)</p> <p>舌小帯強直症、口唇口蓋裂、顎変形症</p>	○水谷
5 (05/09)	<p>『外傷』</p> <p>①軟組織損傷を分類し説明ができる。</p> <p>②歯の損傷を分類し説明ができる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 34-44</p> <p>(復習)</p>	○水谷

	③顎骨骨折を分類し説明ができる。	<p>軟組織損傷の治癒過程を理解する。</p> <p>歯の破折部位による治療方針、脱臼歯の保存方法を復習する。</p> <p>上下顎骨折の好発部位を知り、治療法を復習する。</p> <p>(キーワード)</p> <p>軟組織損傷、歯牙破折、顎骨骨折、Le Fort 分類</p>	
6 (05/16)	<p>『神経疾患』『顎関節疾患』</p> <p>①顎口腔の知覚を司る神経を説明できる。</p> <p>②顎口腔の運動を司る神経を説明できる。</p> <p>③顎口腔の神経疾患の臨床症状と治療方法を説明できる。</p> <p>④顎関節症の分類が説明できる。</p> <p>⑤顎関節症・顎関節脱臼の治療法が説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 122-129、45-49</p> <p>(復習)</p> <p>顎口腔領域の解剖を復習しておく。</p> <p>顎口腔領域の神経疾患を列挙できるようにする。</p> <p>顎関節症について原因、治療を含め説明できるようにする。</p> <p>(キーワード)</p> <p>三叉神経痛、顎関節症、習慣性顎関節脱臼</p>	○河合
7 (05/23)	<p>『粘膜疾患』『血液疾患』</p> <p>①口腔にみられる粘膜疾患を説明できる。</p> <p>②口腔粘膜疾患をともなう症候群を列挙できる。</p> <p>③口腔粘膜に症状を示す血液疾患を説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 50-69,76-79, 70-79</p> <p>(復習)</p> <p>粘膜疾患を分類し説明できるようにする。</p> <p>口腔領域に症状がでる症候群を列挙できるようにする。</p> <p>原因別に血液疾患を分類できるように復習する。</p> <p>(キーワード)</p> <p>扁平苔癬、シェーグレン症候群、出血性素因</p>	○水谷
8 (05/30)	<p>『腫瘍(1)』</p> <p>①腫瘍とは何か説明できる。</p> <p>②良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。</p> <p>③腫瘍類似疾患について説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 89-104、107-111</p> <p>(復習)</p> <p>腫瘍とは、定義について説明できるようにする。</p> <p>良性、悪性の違いについて説明できるようにする。</p>	○水谷

		腫瘍類似疾患とは何か、復習しておく。 (キーワード) 良性腫瘍、悪性腫瘍、エプーリス	
9 (06/06)	『腫瘍(2)』 ①腫瘍の分類を説明できる。 ②腫瘍に対する治療法が説明できる。 ③術後の機能障害に対する処置を説明できる。	(予習) 教科書 105-107 (復習) 悪性腫瘍の治療法を分類し、説明できるようにする。 治療後の機能障害について復習しておく。 (キーワード) 癌腫、肉腫、手術療法、化学療法、放射線療法	○水谷
10 (06/13)	『炎症』 ①炎症とは何か説明ができる。 ②顎骨にみられる炎症性疾患の臨床症状を説明できる。 ③消炎処置の内容を説明できる。	(予習) 教科書 80-88 (復習) 炎症とは何か。 炎症の臨床症状を説明できるようにする。 治療としての外科療法、薬物療法を復習する。 (キーワード) 炎症、ドレナージ、抗生剤	○河合
11 (06/20)	『嚢胞』 ①嚢胞の定義を説明できる。 ②嚢胞の分類が説明できる。 ③各嚢胞に対する治療法を説明できる。 『唾液腺疾患』 ①唾液腺の種類を説明できる。 ②唾液腺の炎症性疾患の種類を説明できる。 ③唾液腺腫瘍の好発部位と主なものを説明できる。	(予習) 教科書 89-97, 112-121 (復習) 嚢胞の定義と治療法が説明できるようにする。 解剖学的に唾液腺を説明できるように復習する。 唾液腺疾患が列挙できるようにする。 (キーワード) 歯根嚢胞、歯根端切除術、開窓療法、大唾液腺、小唾液腺、多形腺腫	○水谷
12 (06/27)	『麻酔』全身管理とモニタリング、救命救急処置 ①歯科治療における歯科麻酔の役割を説明できる。	(予習) 教科書 174-205	○水谷

	<p>②全身状態の評価に必要な基本的事項を説明できる。</p> <p>③バイタルサインについて説明できる。</p> <p>④局所麻酔法について説明できる。</p> <p>⑤静脈内鎮静法について説明できる。</p> <p>⑥全身麻酔法について説明できる。</p>	<p>(復習)</p> <p>歯科麻酔の役割を理解しておく。</p> <p>バイタルサインとは何かを整理しておく。</p> <p>各種麻酔法、鎮静法について整理して理解しておく。</p> <p>(キーワード)</p> <p>歯科麻酔、血管収縮剤、局所麻酔、全身麻酔、静脈内鎮静法、バイタルサイン</p>	
13 (07/04)	<p>『救命救急処置』</p> <p>①歯科診療で問題になる基礎疾患と歯科治療時の注意点を説明できる。</p> <p>②歯科治療時の全身的偶発症の概要を説明できる。</p> <p>③一次救命処置について説明できる。</p> <p>④二次救命処置について説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 206-215</p> <p>(復習)</p> <p>全身的基礎疾患を分類し、理解しておく。</p> <p>歯科治療時時の偶発症を復習しておく。</p> <p>一次、二次救命について整理し、すぐ対応できるよう理解しておく。</p> <p>(キーワード)</p> <p>基礎疾患、偶発症、BLS, ACLS, AED</p>	○水谷
14 (07/11)	<p>『インプラント手術、その他』</p> <p>①インプラント治療とはなにかについて説明できる。</p> <p>②インプラント治療の適応症、禁忌症が説明できる。</p> <p>③インプラント治療の手順、各種器具の操作できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 161-162、250-252</p> <p>(復習)</p> <p>インプラントとは何か、長所、短所を含め説明できるようにする。</p> <p>インプラント治療に必要な器具を準備できるように復習しておく。</p> <p>(キーワード)</p> <p>インプラント</p>	○河合

15 (07/18)	<p>『口腔外科・歯科麻酔処置における衛生士業務』</p> <p>①得られた診断をもとに、患者背景を考慮して治療方針が決定することを理解する。</p> <p>②診察と検査の目的を理解し基本、順序、記録法を説明できる。</p> <p>③口腔外科小手術を理解し準備と手術順序を説明できる。</p> <p>④清潔と不潔を理解し、院内感染防止対策を説明できる。</p>	<p>(予習)</p> <p>教科書 130-173,218-260 271-273</p> <p>(復習)</p> <p>カルテの記載方法を理解する。</p> <p>臨床検査の数値の意味を整理し、復習しておく。</p> <p>口腔外科小手術の内容を理解し、器具の準備ができるようにする。</p> <p>院内感染予防について理解しておく。</p> <p>(キーワード)</p> <p>SOAP,臨床検査、滅菌、消毒</p>	○水谷
------------	--	---	-----